

たまっこ通信 第2号

令和6年1月9日発行
石川支援学校たまかわ校
地域支援センターたまっこ



たまかわ校マスコット
ありす&りすた

皆さま、明けましておめでとうございます。今年も地域支援センターたまっこを、どうぞよろしくお願いたします。

冬休みの12月25日(月)に、近隣町村の幼稚園やこどもの園先生方にご参加いただき、第2回地域の学習会を開催しました。今回は、「コミュニケーションに課題のある児童生徒の理解や支援について」をテーマに、たまかわ校の教員と一緒に提供して頂いた事例についての検討会を行いました。地域支援センターたまっこでも、参加された先生方が、日頃どんな事に悩まれているのかを知る事ができる、貴重な時間となりました。今回の学習会での話し合いが、3学期からのお子さんのより良い支援に繋がると嬉しいです。ご参加頂き、有難うございました。

事例検討会・総評の様子



★3つのグループに分かれて、2つの事例について話し合いをしました。総評は石川支援学校特別支援教育アドバイザーの小河原健一先生より、お話を頂きました。



〈 話し合いの進め方 〉

- ① 気になるお子さんの行動を一つ取り上げる。
- ② お子さんの立場で、行動の背景や要因を考える。(付箋に書き出し、発表する。)
- ③ どんな支援ができるか具体的に考える。(付箋に書き出し、発表する。)
- ④ 支援策の中から、実践可能な支援を選ぶ。

〈 参加された先生方からの感想等 〉

- 3学期に向けて改善点や挑戦したい事が確認できて良かった。
- 様々な先生方と話し合う事で、自分では気付かなかった考えや視点を見付ける事ができて良かった。
- 冰山モデルを元に、要因や背景、支援策をみんなで考え合う事ができて良かった。話し合いの進め方が参考になった。
- 冰山モデルを頭において、考えられる背景を考える事で、今までとは違った見方ができた。また、何よりもその子への眼差しが温かくなると思った。
- 地域でどんなお子さんへの困り感があるかが分かり、どんなスキルが支援学校に求められているかリアルに感じた。

…等